

富山港線ポータル鉄道運転席展望

岩瀬浜 ⇒ 富山市内環状線 ⇒ 岩瀬浜

4K 撮影作品※



ANRS-72419B/ 本編約 85 分 5,500 円 (税込)

ANRS-72418 / 本編約 85 分 4,950 円 (税込)

■ 撮影日 / 2024 年 11 月 8 日 (金) 晴

■ 区間 / 岩瀬浜 (11:30 発) ⇒ 富山市内環状線 ⇒ 岩瀬浜 (12:24 着)

■ 本編の概要 ■

岩瀬浜～奥田中学校前は元 JR 富山港線である。岩瀬浜を発車し、岩瀬運河を渡り、正面に富山競輪場が見えてくると、すぐに競輪所前に着く。秋浦小学校前で対向電車とすれ違い、奥田中学校前を出ると、直進していた旧富山港線跡を尻目に、大きく右にカーブして併用軌道を走って行く。富山駅停留所は JR 富山駅の直下に位置し利便性がよい。富山駅を発車すると、市街地を反時計回りに走り、さまざまな形式の電車とすれ違いながら、再び富山駅に戻ってくる。この先は往路と同じ経路を走り、始発駅であった岩瀬浜へ帰って行く。

※カメラの設置位置の都合により、展望全編において遠近点为中心よりやや左寄りになっています。

■ 富山地方鉄道鉄道商品化許諾済

◆ 展望本編の主なキャプチャ画像 ◆

※本編は 4K30P 規格での撮影のため、車窓の一部に残像を感じる場合があります。



岩瀬浜で発車待ち。奥田中学校前までは旧 JR 富山港線だった区間を走っていく。



岩瀬浜を発車し、岩瀬運河を渡ると、すぐに次駅の競輪場前だ。



城川原には、南富山運輸区城川原管理所がある。富山ライトレール時代には本社があった。



奥田中学校前を出ると、右に 90 度カーブして併用軌道を走る。旧富山港線は直進していた。



富山駅停留所は、JR 富山駅の高架下に設置され、利便性が追求されている。



富山駅前中央交差点で信号待ち中に、8000 形が横切って行った。



軌道に石畳が敷かれた区間もあり、風情と趣が感じられる。
(新富町～県庁前)



丸の内を出ると、富山大学前方面へ向う安野屋線（呉羽線）が、右に分れて行く。



左に富山城が見える。富山都心線は単線区間で片方向のみの運転だ。
(丸の内～国際会議場前)



パトカーふうのラッピングをした「パト電」(7012) との出会い。
(中町)



左前の建物が地鉄ビルで、富山地鉄の本社がある。
(地鉄ビル前)



市内を反時計回りに 1 周し、JR 富山駅前に戻ってくる。



はるか前方には、冠雪した立山連峰が望める。
(龍谷富山高校前～奥田中学校前)



奥田中学校前からは、再び旧 JR 富山港線の専用軌道を走る。



使われていないが、JR 時代の旧ホーム（左側）が残る東岩瀬。高さの違いがよくわかる。



終点の岩瀬浜に到着。1 面のホームの先に車止めがあるだけで、侘し気な終端駅だ。

■ 撮影時の気象条件や機材との関係により、明暗のバランスの乱れがある区間があります。また、列車の進行方向によって、逆光による反射光で正面ガラスへの写り込み、汚れ等で展望が見づらいと感じる区間もありますが、あらかじめご了承ください。

■ キャプチャー画像は、お手持ちのパソコンやテレビ等の環境により、実際の映像より色味が違って見える場合がございます。